



菅波 茂

「AMD A魂と医療のプロ
グラム (ASMP)」はAMD
Aの名譽顧問であり、元フイ
リピン医師会長であるプリミ
ティボ・チュア先生によつて
提唱された。第二次世界大戦
で亡くなった人たちを敵味方
なく、双方の宗教者が参加す
る合同慰靈祭により魂を用
い、関係者の方々に医療プロ
グラムを提供する趣旨であ
る。

アジアにあるAMD A支部
の会員には必ず第二次世界大
戦の関係者がいる。AMD A
が「今日の家族の生活と明日
の家族の希望が実現する状況
が平和であり、阻害する要因
として戦争、災害、貧困があ
る」と定義する限り無視でき
ないのが第二次世界大戦の影
響だった。更に、04年12月26
日に発生した200年に1度
といわれる大災害だったスマ
トラ島沖大地震・津波の被災

者に対してもAMD Aの平和
の定義にしたがつてASMP
の概念を拡大した。

ASMPの合同慰靈祭に関
しては、00年から戦争犠牲者
のために25カ国43カ所、ま
津波被災者のために3カ国
で実施。参加者の数は
6000人を超えた。
ひとえに参加していた
だいた宗教者の方々と
海外のAMD A支部そ
してプロジェクトに派
遣されているAMD A
のメンバーによる尽力
のおかげである。

「魂の合同慰靈祭に
遅れること6年にし
て、「医療の奨学金」
プログラムが軌道に乗っ
てきた。運営のガイド
ラインは下記の如くで
ある。

①第二次世界大戦で多くの
人たちが死亡した戦闘地域
と、AMD A多国籍医師団が
自然災害被災者救援活動を実
施した被災地の人
②将来AMD Aの活動に医

AMD A魂と医療のプログ ラム (ASMP) の奨学金

師・看護師などの医療従事者
として貢献する人

③AMD A支部長が責任を
有する委員会が推薦された人

④奨学金には資金提供者の
個人名を冠する

⑤インドに建設中のAMD
Aヒースクリニック・イ
ン・ブダガヤに合同慰
靈祭の参加者と奨学金の
資金提供者の名前を記録
する

簡潔に言えば、AMD
A支部長による人材育成
プログラムである。

奨学金に個人名を冠す
ることについて説明した
い。ASMPは個人ボラ
ンティアによる運動であ
る。日本からの宗教者の
方々には自己負担によっ
て参加していただしてい
る。医療プログラムでも個人
としての資金提供者を尊重す
る奨学金を開始した。個人の
お金の使途に関して名譽と希
望を優先させたい。ただし、
お金の継続性がなくなつた
きは次の人にバトンタッチす

ることになる。

AMD A多国籍医師団が救
援活動を実施した被災地では
少なくとも1人以上に継続し
て奨学金を授与したい。AMD
A多国籍医師団救援活動を
支援してくれた人たちの象徴
として。そして「災害があれ
ば、AMD Aは必ず来る」メ
ッセージとして。

21世紀は災害の世紀であ
る。AMD A多国籍医師団が
多くの被災地で活動すること
になる。多くの人たちが救援
活動、合同慰靈祭そして新た
な奨学金設立に参加されるこ
とをお願いしたい。奨学金の
恩恵を受けた医療従事者が将
来のAMD A多国籍医師団の
担い手として活躍することに
なる。「救える命があればどこ
へでも」を実現する究極の個
人ボランティアの「相互扶助」
ネットワークとして。このネ
ットワークを支えるためにボ
ランティアで参加しているA
MD Aの支部長にも最大の感
謝をしたい。(AMD A代表)

|| 題字は筆者